

みあさづくり



小さな拠点運営法人が設立

平成元年から準備を進めてきた「小さな拠点」を運営する「一般社団法人地域づくり美麻」の設立総会が4月14日に美麻公民館講堂で開催されました。

人口減少時代の持続可能な住民主体の地域経営を目標として、令和元年11月に大町市に提案して以降、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、予想以上に時間がかかりましたが、地域の皆様の協力により、新たなスタートラインに立つことができました。

法人の代表理事に選出された前川浩一さん（美麻地域づくり会議会長）

は「誰もが安心して住み続けられる地域にしたい」と活動の抱負を述べられました。

「交流促進」「生活支援」「地域振興」の3部会を設け、美麻地域づくり会議の活動と連携しながら美麻地区の活性化や生活支援サービスの提供に取り組んでいきます。



Miasa Community Design since 2006



ホームページ
美麻Wiki



facebook



QRコードを読んでパソコンや
スマホでもご覧ください。

<http://miasa.info/>

<https://www.facebook.com/miasawiki>



地域の話題

令和4年度美麻地域づくり会議総会を開催

美麻公民館講堂において4月7日（木）に総会を開催し、下記事項について承認、議決がされました。

【令和3年度事業報告・主なもの】

- 5月29日 小さな拠点勉強会
- 6月19日 地域環境整備事業、市道等の草かり
- 8月7日 美麻市（道の駅活性化事業）
- 9月 花豆甘納豆を地区敬老会の記念品に配付
- 10月28日 視察：有害鳥獣対策（木曾町開田）
- 12月14日 一般社団法人設立説明会
- 12月20日 視察：移動支援（上田市豊殿地区）
- 1月6日 一般社団法人運営会員募集説明会
- 広報みあさづくり通信 7回発行
- ホームページ等による情報発信
- コミュニティ・カレンダーの発行
- コミュニケーションブックの更新（3年ごと）
- 特産品の研究開発（花豆13戸・71kg）

【新規事業】

- 移動サービス支援（買い物支援）10回
- ふるさとワーキングホリデー事業 4回

【令和3年度決算報告】

1 広報部会事業	650,803円
(1) 地域情報発信事業	542,553円
(2) 地域づくり調査研究事業	108,250円
2 事業部会事業	240,706円
(1) 交流促進事業	178,234円
(2) 地域環境整備事業	62,472円
3 小さな拠点部会事業	695,140円
(1) 運営組織の準備事業	196,991円
(2) 移住・定住促進事業	110,767円
(3) 特産品の研究開発事業	387,462円
4 地域づくり活動促進事業	229,195円
(1) 会員活動支援事業	33,371円
(2) 学社融合事業	195,824円
5 一般管理費	1,820円
決算額	1,817,664円

【令和4年度事業計画】

- 広報部会事業
 - ・広報誌（年6回程度）コミュニティカレンダーの発行、地域情報の発信等を行います。
- 事業部会事業
 - ・やまびこまつりへの参加、道の駅活性化事業、美し村開発プロジェクト、有害鳥獣被害低減活動等。
- 小さな拠点事業
 - ※ 一般社団法人地域づくり美麻と連携をとり、小さな拠点活動やサービス内容の検討、高齢者等の生活支援の検討、移住・定住の促進等事業を進めます。
- 地域づくり活動促進事業
 - ・会員活動への支援、コミュニティ・スクール活動への参加、協力。

【令和4年度予算書】

1 広報部会事業	700,000円
(1) 地域情報発信事業	610,000円
(2) 地域づくり調査研究事業	90,000円
2 事業部会事業	630,000円
(1) 交流促進事業	500,000円
(2) 地域環境整備事業	130,000円
3 小さな拠点部会事業	610,000円
(1) 運営組織の準備事業	150,000円
(2) 移住・定住促進事業	200,000円
(3) 特産品の研究開発事業	260,000円
4 地域づくり活動促進事業	470,000円
5 一般管理費	30,000円
6 予備費	10,000円
合計	2,450,000円

【令和4年度役員】

- 会長 前川 浩一
- 副会長 大塚 裕明
- (広報部会長)
- (事業部会長) 北沢 孝一
- (小さな拠点部会長) 川澄 寛都

- 専門部副部長 北沢 和也
- (広報副部長)
- (事業副部長) 田邊 勇
- (小さな拠点副部長) 鈴木 幸
- 監事 小林 稔
- 和田 重信



小さな拠点の活動と参加の方法

1 活動の種類



活動には「無償ボランティア」「有償ボランティア」、「雇用」があります。参加しやすい活動を選んで参加いただけます。

① 無償ボランティア活動

> 法人自主事業、自治会や地域づくり会議への協力等

② 有償ボランティア活動

> 小さな拠点事業、受託事業、法人自主事業等

③ 雇用

> 常時雇用での事業実施が必要な場合

2 活動への参加方法



イベント等に合わせたの募集に応募していただく方法と、一般社団法人に入会して参加いただく方法があります。

3 活動時間



活動時間は1時間単位です。

短時間で行う事業もありますので、都合に合わせて参加いただけます。

(例)

移動支援事業の添乗ボラ 2時間程度/回から

4 活動報酬・賃金等



業務内容に応じて、最低賃金を基準に時間単位で支払います。有償ボランティアは、実費弁償(1日又は半日)となります。

◆支払時期

[会員]事業の都度又は、1月分まとめでの支払います。

6 プロジェクトへの参加



運営会員は、「部会」に登録いただくことで、継続的に行う事業の案内をさせていただきますほか、新たなプロジェクトの企画立案や運営に参加いただけます。

▶ 交流促進部 「美&遊」

ワーキングホリデー事業の実施、移住定住促進イベントの実施、地域情報を発信する事業、他地域との交流事業のサポート、コミュニティ・スクールの支援等



▶ 生活支援部 「タスカル美麻」

移動支援サービスの提供、買い物等生活支援サービスの提供、地域の草刈りや共同作業の支援、地域づくり活動団体への支援 等



▶ 地域振興部 「美麻ワークス」

有害鳥獣対策事業の実施、農地や山林等の環境保全活動、特産品の研究開発、地域の人材育成、地域産業の振興支援活動 等



※一人が複数の部会に参加することもできます。
※詳しくは、美麻地域づくり会議事務局までお問合せください。

【令和4年度事業提案の募集結果】

令和4年度の地域づくり活動にたくさんの提案をいただきありがとうございました。

提案いただいた内容については、役員会で内容を確認させていただきながら、支援を行っていきます。また、事業提案については、令和4年度事業内容に反映をさせていただきました。提案された事業は次のとおりです。(順不同)

- ・ミニトマト栽培(保育園保護者会)
- ・総合学習美麻市民科への支援(美麻小中学校、スクールパートナーズ)

- ・麻入り和紙の卒業証書づくり(学校PTA)
- ・くくり農購入、修理(美麻獺友会)
- ・土尻川の岩魚等の調査(青具自治会)
- ・美麻地区をテーマとしたイベント開催(美麻小中学校8年生)
- ・白馬スノーピークマルシェ出店(花まめや 鈴木幸)
- ・地域環境整備(自治会)
- ・高齢者生活支援(個人)



優しくて、頼もしいお兄ちゃん、お姉ちゃん、先生方の待つ、美麻小中学校に新1年生11名が入学してきました。9年生に手を引かれて入場して入学式を迎え、帰りには昇降口でお兄さん、お姉さんの企画してくれた「1年生歓迎セレモニー」もありました。とても緊張しましたが、次の日から、元気にみんな登校してきました。

早く、学校に慣れて、楽しく勉強したり、遊んだりできるといいですね！（文責：小山 保男）

一年生を迎える会 大成功！！

一年生を迎える会が4月20日（水）にありました。美麻小中学校の1年生を迎える会の計画、準備、進行は、4年生です。見事やりきってくれました。全校のみなさんが楽しんでいる様子を見て、教室に帰ってきた子どもたちには、達成感がみてとれました。一人一人が自分の役割

を自覚し、常に動き回って、学校を動かしてくれました。突然の対応や、一人一人の小さな気づきが大成功につながったと思います。ゲームは、「王様じゃんけんゲーム」と「信号機ゲーム」をやりました。校長先生のコスプレ？もあり、大盛り上がりでした。全校行事を4年生が中心になって行えるというのは、本当に貴重な経験だと思います。ホップ期最後の1年。「リーダー」を少し意識して、頑張っていきたいと思います。（文責：鳥屋 心吾）



みあさ保育園入園式



みあさ保育園入園式が4月4日に行われました。今年は新しいお友だちが1人入園し、年長2名、年中2名の総勢4名でのスタートになりました。遊戯室には児童クラブのお兄ちゃんお姉ちゃんが春休み中に入園式の飾り付けの準備をして下さっており子どもたちも大喜び！新しいお友だち、新しい先生方を前にドキドキ緊張が隠せない子どもたちでしたが、あっという間に打ち解けることができました。

年々、園児の人数が少なくなってしまう近年。クラス数も1つにまとまり、縦割り保育となりましたが、その中で子どもが異年齢の存在を受け入れ、認め合い、共に成長することができるようになって欲しいと思います。自然溢れるみあさ保育園で伸び伸び育つ子どもたち。今年度も地域の皆様の温かいご支援よろしくお願い申し上げます。

（みあさ保育園保護者会 重田あまな）

いちからもち米料理を作るぞ！～市民科の時間テーマ決定～

4月22日（金）に市民科はじめの会がありました。オリエンテーションの後、クラスで今年度の市民科のテーマを考えました。先週からすでに考え始めていたこともあり、「いちからもち米料理づくり」を中心のテーマに据えて、「もち米の栽培」「その他の食材の栽培・調達」「食器作り」「調理のための火おこし」「調理器具づくり」とやりたいことてんこ盛りの内容になりました。現在では「もち米の栽培」はクラスで取り組むことにして、その他のことについては「食器」チーム「火おこし」チーム「食材」チームの3つに分かれて活動を開始しました。もちろんまだまだ始まったばかり、失敗も

たくさんあるかもしれないけれど、子ども達の「やりたい！」が原動力ですので、やれるところまでチャレンジしていこうと思います。

（5年生 担任 藤巻 智哉）



お米買ってくださーい！

ある日の総合の時間に「去年コロナで売れなかったお米が残ってるから売らなきゃ」という話になり、「来週参観日だからそこで売ろう」「去年作ったチラシあるから、日にちと時間を直して配ろう」「全校に放送してお知らせした方がいい！」と、一週間で準備をしましたが、とても動きがスピーディでした。4月22日（金）授業の合間に準備をし、「お米売ってま～す」とさわやかに声出しをし、「値段書いといた方



がいい」「何個でもいいよって書いといた方がいい」と、売りながら分担してチラシを書き、「袋から出して渡す時に入れた方がいい」などなど、どんどん改善していく姿がすごいなあと思いました。たくさんの人に買ってもらい、60個ほどあったお米はほぼ完

売しました。売り上げをどう使っていかこれから考えていきます。

（6年生 担任 太田 さや香）

美麻小中学校名物 元気アップ！

新学期が始まった4月19日（火）、毎朝の「元気アップ」運動も始まり、天気よい日は学校前の坂道でダッシュです。今年は若い先生方も昨年よりたくさん参加して、汗を流

しました。「元気アップ」のおかげで、美麻小中の体力が保たれています。8年生も小さい子に負けずに全力で走ってます。

（8年生 担任 小山保男）



コミュニティ・スターの話題

みんなでつくる学校へ(自治会総会)



自治会総会が4月25日(月)に体育館で行われました。スローガンも発表され、活動計画が承認されました。これで、今年の学校づくりの土台が整い、いよいよ本格的に自治会活動がスタートします。委員長からの提案に耳を傾ける姿、全校に伝わるようスライドや言葉などを工夫して話す

姿等、それぞれの立場で全員が前向きに参加しました。今年度の活動について対話をする場面もあり、参加した一人一人が自分の思いを語る事ができた自治会総会になっていました。

自治会スローガン「TRY & UP みんなで咲かせよう 美麻の花」は、今年的美麻が大事にしている4つのC hのうちいくつかにつながりそうです。

Challenge = TRYすること

Chance = それぞれがUPするチャンスになりそう

Check = UPしたかな?次へつなげよう

全校のみんなが自分を伸ばせる、一歩先の自分になれる、そんな1年になればいいと思います。

(9年生担任 村田 茜)

パウンドケーキ作り

4月13日(水)に生活単元でパウンドケーキを作りました。昨年同様、白樺ベーカリーの試作と試食を



してみました。2人とも、手順良く準備をしたり、卵や小麦粉など上手に混ぜたりできました。おいしく焼けたと思います。



白樺ベーカリー大盛況



4月27日(水)に白樺ベーカリーが久しぶりにオープンしました。

一人一つずつパウンドケーキを焼いて、職員室で販売しました。楓さんはポイントカードにスタンプを押して、先生方とたくさんコミュニケーションができました。雄飛さんも先生方と対話をしながら、お釣の計算がしっかりできました。

先生方からは、「おいしそう」「今度はいつ?」と大好評(だいこうひょう)でした。

(文責 渡島 正次)

今年の市民科をどうする？

4月15日に市民科はじめの会があり、その後、「今年の市民科をどうするか」についてクラスで話し合いました。話し合いのキーワードになっていたのは、「地域の活性化」と「学び」という言葉でした。1時間の話し合いでは結論が出せませんでした。市民科に対する真剣な思いが感じられました。

～生活ノートより～

- ・みんな一人ひとりの意見が言えていてすごかったです。前川さんからもなぜ花豆になったのかを聞いて良かったです。
- ・花豆を受け継ぐか受け継がないかを決めると

き、みんなの意見を聞いていると、みんな自分の意見を言えていて、なんでも言い合える信頼関係がすごいなと思いました。私もみんなにとけこめるように頑張りたいです。

・私は、最初、受け継いだ方がいいと思っていた。これまで、色々な商品を開発したり、花豆ブックを作ったりして、それが終わったらもったいないと思っていた。でも、前川さんの話を聞いて、花豆じゃなくても美麻の物だったらいいんだと思った。(7年生 担任 志水 宏靖)

美麻市民科がテレビで紹介されました

テレビ信州「夕方get!」(4月26日)で美麻小中学校のコミュニティ・スクールの取り組みが、美麻市民科の活動を中心に紹介されました。



連載

美麻の口碑伝説

～語り継ぐ郷土の心～

十二



かつてはこの樹液からカエデ糖を採取した。



※いたやリイタヤカエデ 落葉高木。北海道・本州・四国・九州に分布。和名は葉がよく繁り板でふいた屋根根のように雨をささえぎるの意味。秋に葉が黄色に色づく。

木の幹の真ん中が窓のように開いている形をした木があれば、それは山の神様のこしらえた木だからこれを伐ると罰があたるといって職人も誰もなるべく伐らないことになっている。
青具大山の小澤の奥山に「いたや※」の木で四抱えもある窓木がある。十数年を置いて山の木を3・4回伐採したが、だれもこの木にだけは斧を入れず、今も立派にある。また青具から築場へ出る丸切沢に沿っての道端にもこの窓木はある。最近のことであるが、ある人がこれを伐ろうとして大けがをしたとのことである。

窓木

(今回は、青具の話)

傘木則興さん（千見）が市連合自治会の会長に就任

千見自治会長で美麻地区の連合自治会長でもある傘木則興さんが、市連合自治会の会長に就任しました。大変な重職ではありますが、地域と行政の橋渡し役として、そして、この地域や大町市の活性化に繋がることを多いに期待しています。



「緑の募金について」

緑の募金は、募金主体である長野県緑の基金へ大北地域緑化推進協議会を經由し納付されています。大町市の令和3年度の緑の募金につきましては、小学1年生を対象とした、おたんじょ桜の里づくり記念植樹会の経費や、八坂小学校みどりの少年団が行ったシイタケの駒打授業等の「森づくり・人づくり」に活用されました。緑の募金は、緑に対する関心を具体的な「森を育てる」取組へと結集するため平成7年4月「緑の募金による森林整備等の推進に関する法律」として法制化されました。また、平成14年に政府が策定した「地球温暖化対策推進要綱」におきましては、森林の二酸化炭素を吸収貯蔵する働きが高く評価され、緑の募金は重要な推進方策として位置づけられました。この募金は、大切な緑を豊かに育み、森林整備への取組のために活用されていますので、引き続き緑の募金に一層のご理解とご協力をお願いいたします。

農林水産課



「日赤活動資金について」

皆様にご協力いただいている日赤活動資金は、昨年度大町市地区全体では3,545,050円の実績があり美麻分区では133,500円でした。これらの活動資金は日本赤十字社に納付され、下記の活動に使われます。

- 1 災害発生時の医師や看護師等の派遣や医療救護
- 2 災害時の備えとして救援物資の整備・備蓄
- 3 地域の災害時における炊き出しや公共施設の清掃、社会福祉施設への慰問等赤十字奉仕団活動
- 4 避難所運営体験等を通しての防災意識の向上と知識の普及、胸骨圧迫や人工呼吸等の救急法の習得等講習会活動
- 5 災害時に被害を回避できるよう学ぶ学校での防災教育、感染症等の不安や恐れから生まれる人権問題に対する啓発活動

美麻分団では、令和2年度、活動資金の中から災害時用備品倉庫を設置しました。また、令和3年度には77,427円の分配金があり、炊き出し研修の材料や倉庫内の敷物等を購入しました。

日赤活動資金は、いざという時の備えとして、大切な資金となります。今後も皆様の御協力をお願いいたします。（日赤大町市地区美麻分区事務局）

花豆甘納豆好評販売中！

美麻地域づくり会議と美麻小中学校の生徒が、総合的な学習において取り組み花豆の6次産業化で商品化された、花豆甘納豆が好評販売中です。美麻で育てた花豆を素朴でさっぱりとした味に仕上げています。昨年度は、美麻敬老会の景品として地域の皆さんにも味わっていただきました。パッケージには生徒が作った「花豆カルタ」の絵柄を印刷してあり贈答用にもご利用いただけます。

【取扱店】

- ほかほかランド美麻（青貝）
- 花まめや（青貝）
- いーすら大町特産館（仁科町）
- J A 大北直売所
- ええっこの里（常盤）
- 美麻地域づくり会議 事務局



■ 編集・発行 美麻地域づくり会議

住所 大町市美麻11810-イ 電話29-2311 FAX29-2333 ・ 電子メール info@miasa.info